

お客様

高品質の製品をお客様に提供するとともに、納期・コストの対応についても常にレベルアップを図り、「お客様満足度」のさらなる向上を目指しています。

品質保証への取り組み

当社は、世界トップ水準の品質確保とお客様満足度向上を目指した品質方針を定め、あらゆる品質保証への取り組みを行っています。国内環境の変化に目を配るとともに、グローバルへ向けての歩みをさらに進め、業務品質の維持・向上に努め、お客様に高品質の製品を提供し続けていきます。

また、品質国際標準の認証取得を積極的に推進し、これに則った品質マネジメントシステムを運用しています。

品質方針

世界トップ水準の品質提供により
お客様満足度向上をグローバルで達成する

重点方針

- ① 監査・教育の充実によるグローバル品質の向上
- ② 再発防止活動徹底と未然防止活動推進による品質問題根絶

具体的な取り組み

重点方針については、以下のように進めています。

1. 監査・教育の充実によるグローバル品質の向上
 - ① グローバル監査継続実施・監査項目見直しと自主監査推進
 - ② 国内集合教育と出前教育による人材育成支援
 - ③ グローバルでの品質教育
2. 再発防止活動徹底と未然防止活動推進による品質問題根絶
 - ① 再発不良にQA-N検証を実施
 - ② ポカヨケ事例集作成と新規ポカヨケ考案支援
 - ③ 個別ニーズに合わせた品質改善支援

品質国際標準の認証取得

当社は、1996年に厚木工場で、品質の国際標準であるISO9001の認証を取得したのを皮切りに、全工場でISO9000シリーズの認証を取得しました。また、自動車関連製品を生産する工場については、さらに厳しい品質の国際標準であるISO/TS16949の認証を取得しています。

国内グループ会社各社でも積極的に認証取得を推進しているほか、海外グループ会社でも、お客様や地域に合わせた品質国際標準の認証取得活動を展開しています。

この認証取得により構築された品質保証体制のもとで、「次工程

はお客様」との考えに基づき、これからも高品質の製品を提供していきます。

お客様からの評価

当社はお客様の期待に応えられるよう、常に品質・納期・コストなどの改善に取り組んでいます。その成果は、多くのお客様から表彰を受けるなど高い評価を受けています。



多くのお客様から表彰を受ける

VOICE

日進月歩の 技術進化を期待



マツダ株式会社
車両開発本部 主査
山本 忠信 さん

当社の国内・海外の生産拠点で生産する自動車の懸架ばね関連部品（コイルスプリング、リーフスプリング、スタビライザ、スタビライザリンク）を供給してもらっています。その開発・設計業務において、性能、生産性、軽量化など、あらゆる技術を高めるために、開発初期段階からの協業に尽力してもらっており、背反関係になりやすい懸架ばねの機能最適要件と車両諸元要件などの整合に役立っています。

ニッパツは、懸架ばねはどうあるべきかを常に追求しており、単品のみならず、サスペンション・システムの機能向上のために、技術開発に真剣に取り組んでいる点を、当社は高く評価しています。

これからのシャシー・ダイナミクスの進化に向け、サスペンション・システムの機能向上が必要であり、とりわけ車両挙動の基本をなす懸架ばね関連部品において、ニッパツには日進月歩の技術進化を期待しています。

株主・投資家

株主・投資家の皆様に長期的にご支援いただくためには、会社の状況や財務に関する情報のタイムリーな開示が大切であると考え、その実施に努めています。

株主への対応と分布比率

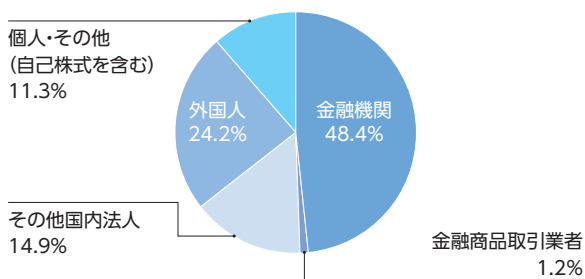
株主の皆様からの問い合わせについては、以下の通り対応しています。

広報グループ：事業活動ほか全般

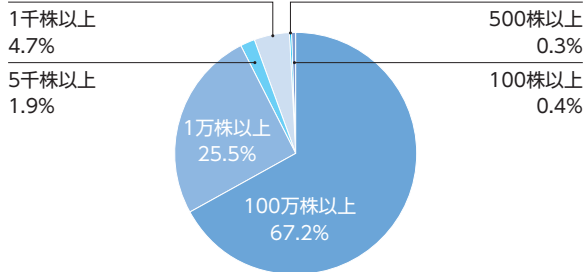
総務部：株式の諸手続き（株主名簿管理人＝三菱UFJ信託銀行）
なお株主の分布状況は、次のグラフのような構成となっています。

株主分布状況（2014年3月31日現在）

所有者別株数比率



所有数別株数比率



IR情報の発信

株主・投資家の皆様に、当社を一層ご理解いただくため、事業報告書やニッパツレポート（日本語版および英語版）の発行のほか、プレスリリースやホームページで最新情報をお知らせしています。今後さらにホームページの充実を図るなど、迅速かつ充実した情報発信に努めていきます。



WEB 投資家情報ページのアドレス
<http://www.nhkspg.co.jp/ir/>

投資家向け情報の発信

当社は、中間決算および本決算発表後、アナリスト・機関投資家向けに決算説明会を実施しています。2013年度は、5月と11月の2回開催しました。今後も、アナリストや投資家への積極的な情報開示を推進していきます。



決算説明会を開催

VOICE

高い設計・加工技術がニッパツの強み



野村證券株式会社
エクイティ・リサーチ部 アナリスト
大濱 洋平 さん

私は、自動車部品各社の業績予想および産業動向の調査・予測を行い、そこから導き出した株式の投資判断を国内・海外の機関投資家に提案する業務を行っています。ニッパツから発表される決算短信、ファクトブック、有価証券報告書といった開示資料に加え、IR担当者への取材や決算説明会、国内・海外での工場見学を通して、ニッパツの事業戦略、強み、課題などについて理解を深める機会を得ています。

ニッパツの強みは、自動車用の懸架ばねやHDD用サスペンションで世界トップクラスのシェアをもち、顧客ニーズが高い自動車の燃費・性能向上に役立つ製品の提案やばね材現地調達化の一段の推進を可能とする高い設計・加工技術を有することであると考えます。

今後は、完成車メーカーの海外増産に対応した拡販や、グループ丸となった効率的な事業展開の進展に期待しています。完成車メーカーのニッパツへの厚い信頼・期待に応える製品提案や生産技術の革新、グローバル調達推進などを着実に重ねていくことで、海外部品メーカーの台頭がある中でも、さらなる飛躍が十分に可能であると見ています。

従業員

当社は「人を大切にする」という企業風土のもと、従業員を大切な財産と考え、「人財」の雇用と育成に取り組んでいます。多様な価値観をもった各人が個々の持ち味を生かして活躍できる企業であるよう、人財の多様性だけでなく、労働安全衛生、福利厚生などの充実を図っています。

人財の雇用と育成

雇用における基本的な考え方

当社は「常に新しい考え方や行動で成長すること」を企業理念の中に掲げ、型にはまらず可能性に挑戦しチームワークで困難を乗り越える、意欲を持った人財を広く求めています。

求める人財像

「新しいことにも興味を持って果敢にチャレンジする」

「様々な方向から物事をみる」

「仲間の個性を認め合い、ともにゴールを目指す」

人財の多様性の面では、特例子会社を通じて障害者雇用を一層推進しているほか、女性や外国籍従業員の採用には目標値を定めています。また、中途採用を積極的に活用するなど、多様な人財の確保に努めています。

人財育成

人財育成は、一人ひとりが「プロフェッショナル」として能力を発揮できるよう、①自ら成長しようとする「個人」、②従業員を育てようとする「職場」、③それらをサポートする「人事制度」の3つを有機的に連携させる体制を目指しています。教育研修は、階層別や職能・専門の集合研修のほか、外国語・異文化研修などもあります。また、社外の研修にも積極的に参加するほか、海外研修や通信教育を充実させるなど、環境変化に柔軟に対応した人財育成に取り組んでいます。



人財のレベルアップに向けた様々な研修を実施

採用活動

採用活動は、当社独自の会社説明会を開催する一方、学校主催の説明会には人事部の採用担当が積極的に参加しています。会社説明会では、若手従業員にリクレーターとして協力してもらい、学生とのフリートークの場を設け、実際に働いている従業員の生の声を聞いてもらうことにより、当社の企業風土や雰囲気をはじめ、就職後の会社生活をイメージしてもらえるような活動を行っています。また、就職情報サイトでの情報開示とともに、携帯サイトを含む当社ホームページでは「採用情報ページ」の設置、新卒採用向けの駅貼りポスターなども展開しています。



当社を理解してもらう会社説明会



当社ホームページの採用情報ページ リクナビの当社トップページ

障害者雇用

ニッパツグループは、障害を持つ人と持たない人が、ともに調和しながら「可能性への挑戦」「社会人としての自立」「社会との共生」を目指しています。当社は、2002年4月から「企業としての社会的責任と地域社会への貢献」を目的に、障害者を雇用する特例子会社「ニッパツ・ハーモニー」を設立しました。また、2009年3月からはグループ会社であるニッパン（日発販売）、日発運輸の2社を特例子会社のグループ適用会社として展開を図っています。2014年3月末現在、同社は神奈川県と長野県にそれぞれに2カ所ずつ、計4営業所を設け、48名の障害（主に知的障害）を持つ従業員が元気に働いています。2013年度は地域の養護学校から39名の生徒を受け入れて実習したほか、様々な企業・学校・行政の関係者など270人あまりの方々が見学に訪れました。



元気に働くニッパツ・ハーモニーの従業員

労働安全衛生

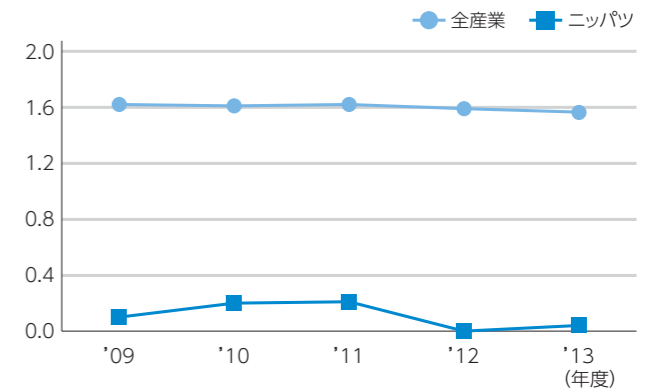
当社は、2000年度から労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）を導入し、2003年度から全社展開しています。「危険ゼロ」を目標に労働災害の撲滅を推進するため、次のような取り組みを行っています。

- ・**リスクアセスメント:** 危険有害要因を特定し、設備の本質的な安全につなげる。
- ・**危険予知活動:** 危険に対する感受性を向上させ、災害の未然防止を図る。
- ・**安全衛生教育の実施:** 危険有害性に関する知識を習得し、災害の未然防止を図る。

労働安全衛生の指標となる休業度数率は、全産業平均よりも下回っています。今後は、労働安全衛生マネジメントシステムのPDCAサイクルを適切に回し、安全衛生管理のさらなるレベルアップを図っていきます。

$$\text{※休業度数率} = \frac{\text{休業災害被災者数}}{\text{延べ労働時間数}} \times 100\text{万}$$

労働災害による休業度数率推移



福利厚生

当社は、従業員の快適な会社生活を支援するため、社会環境に応じた福利厚生の充実に努めています。特に、安全で安心できる働きやすい職場づくりや、従業員同士のコミュニケーションが活発に図れるような取り組みに注力しています。心身の健康管理、余暇の活動、定年後の安定した生活に向けた支援など、総合的な福祉を目指した活動を行っています。



職場コミュニケーション費を利用した社員旅行（精密管理部）



職場を超えた仲間とのクラブ活動も活発に行われている（横浜バドミントン部）



日発太鼓倶楽部は2013年に結成30周年を迎え記念公演を実施



社内大会のほか、グループ内の交流を図るサッカー大会を開催

VOICE

ダイバーシティ推進に向けて



人事部 主査
橋 和子

私は、普段人財育成に関する様々な施策の計画立案と運営に携わっています。ますます進むグローバル化を背景に、世界を舞台にして活躍できる人財の強化に努めるとともに、2013年度からは、海外グループ会社のナショナルスタッフ幹部研修を行うなど、グローバル人財の現地化を目指した取り組みも開始しました。

「人財は競争力の源」です。多様な人財の確保と活用は、企業の成長にとって一層重要になってきており、できることから一歩ずつ地道に取り組んでいきます。

地域社会

当社およびグループ会社の拠点は、国内・海外の様々な地域に広がっており、各事業所がそれぞれの地域に根ざした活動を展開しています。そして、地域社会から世界へと共生の輪がさらに広がるよう、グループ総力をあげて取り組んでいます。

ニッパツの取り組み

「ニッパツ三ツ沢球技場」を軸とした活動

2008年から継続している「ニッパツ三ツ沢球技場」のネーミングライツ(施設命名権)は7年目を迎えました。ネーミングライツの特典である無償使用権の有効活用に取り組んでいます。

●東日本大震災の義援金募金活動

横浜FCのホーム開幕戦で、同球技場内に「鉄神社」を設けました。当社の企業イメージキャラクターである「鉄人28号」のモニュメントと鳥居、賽銭箱を設置し、同チームの優勝祈願を兼ねて、この賽銭を東日本大震災の義援金にあてる活動を行いました。短時間の上、あいにくの荒天にもかかわらず1万円を超える義援金を寄付することができました。

●ニッパツ・朝日新聞ジュニアサッカー教室の開催

小学校2～4年生を対象としたジュニアサッカー教室を同球技場で開催しています。毎回150人ほどの子どもたちに、元プロ選手の指導を受ける機会を設けています。

●ニッパツ・理工系大学サッカーリーグの開催

前途有望な学生の活動を支援するため、サッカーリーグを設立し、この活動を支援しています。開幕戦は同球技場で行うほか、リーグ戦の優勝、準優勝チームは、Jリーグの横浜FCの公式戦時に大観衆の前で表彰を行っています。この活動は当社の採用活動にも役立っています。



同球技場ではラグビーの公式戦も開催される



「鉄神社」で募金活動を実施される



「ニッパツ・朝日新聞ジュニアサッカー教室」。プロ選手と同じピッチを走り回る子どもたち



大学生の活動を支援する「ニッパツ理工系大学サッカーリーグ」

TFTで世界の子どもたちに給食を

2014年2月から、横浜事業所の食堂で「Table For Two」(略称TFT)を導入しました。TFTは、役員・従業員食堂で寄付金付きの食事を食べることにより、アフリカの学校給食への寄付金を届ける仕組みです。2月は2回実施し、324食分の学校給食を寄付することができました。今後、他の事業所への展開なども進めていきたいと考えています。

遊休設備・工具の寄贈

東日本大震災の被災地への支援活動の一つとして、横浜商工会議所(当社の佐々木相談役が会頭)が推進する「遊休機械無償マッチング支援」に協力し、前年に続き2013年も、豊田、厚木、DDS駒ヶ根から、使用していなかった設備や工具を寄贈しました。



遊休設備や工具を被災地へ寄贈

インターンシップや工場見学の受け入れ

当社は、就業体験を行うインターンシップや工場見学を受け入れています。

インターンシップは、年々、人数が増加していることに加え、体験する業務の幅も広がっています。今後も、学生、生徒たちが実社会に触れる貴重な体験の場として、積極的に依頼に応じていく予定です。



学校の先生の就業体験も受け入れている

地域のイベントなどへの協賛・協力

当社は、事業所のある地域で行われる各種のイベントに協賛、支援や協力をを行っています。2013年度の主なものは次の通りです。

- ・横浜国際仮装行列(ザよこはまパレード)
- ・横浜スパークリングトワイライト
- ・横浜音まつり
- ・天竜川水系環境ピクニック(伊那、駒ヶ根)
- ・キッズエンジニア2013
- ・全日本学生フォーミュラ
- ・おかあさんコーラス
- ・金沢まつり

また、知的障害者を支援するスペシャルオリンピックス日本・神奈川への体育館の貸与や、同団体への寄付金付き自動販売機の設置、学習教材への当社製品の写真・資料の提供なども行っています。

このほか当社は事業所ごとに、行政や地域の団体と連携を図りながら、様々なイベントなどに参画しています。



ザよこはまパレードのキッズパレードに協賛



伊那、駒ヶ根の3工場が参加した「天竜川水系環境ピクニック」

グループ会社の取り組み

当社のグループ会社は、それぞれの地域の状況に合わせた活動を展開しています。

中国でインターンシップ協力協定【日発投資】

中国の地域本社である日発投資有限公司は、広東外語外資大学と、インターンシップの協力協定を結びました。2013年10月28日、同大学で調印式が行われ、ニッパツ側からは、嘉戸専務らが出席しました。広州市への地域貢献につながることも、学生にとっても役立つ社会経験となります。将来、ニッパツグループへの優秀な人材の採用にもつながることが期待されます。



広東外語外資大学の陳院長と契約書を取り交わす嘉戸専務(左)

ジャパン・フェスティバルに参加【NSA】

2013年5月17日、米国・フランクフォート市図書館で「第11回ジャパン・フェスティバル」が開催され、NHKシーティング・オブ・アメリカ(略称NSA)が参加しました。同市にある日系2企業とともに、書道、生け花、着物の着付けなど、日本の伝統文化を紹介しました。NSAは地域に根ざした企業として、こうした交流を続けています。



ジャパン・フェスティバルで大人気だった書道

サプライヤー

購入品調達にあたっての基本方針を制定するとともに、自社ガイドラインに基づくグリーン調達を推進しています。

調達基本方針

当社は購入品調達にあたって「相互信頼に基づく長期的パートナーシップの構築」「公正かつオープンな調達」「法規順守と機密保持」という3つの基本方針を制定しています。

購入品調達の基本方針

- **相互信頼に基づく長期的パートナーシップの構築**
相互の努力と公正なお取引を通じて、ベストパートナーとしての長期的な信頼関係を構築し、お互いが発展することを目指しています。
- **公正かつオープンな調達**
当社は、国籍、規模、系列等を問わず、オープンな参入機会を提供し、品質、価格、納期、サービス、技術力、開発力を総合的に勘案してお取引先を選定しています。
- **法規順守と機密保持**
調達活動においては、関連する法規と社会規範を順守しています。また、お取引先を通じ知りえた機密情報は、ご承諾なしには第三者に開示いたしません。

グリーン調達

当社は、購入品調達の基本方針に基づき「グリーン調達ガイドライン」を設定し、環境に配慮した企業からの環境負荷の少ない製品の調達に努めています。サプライヤーの皆様との連携によって、製品の設計・生産・廃棄に至るすべての段階を通して環境負荷物質の管理を推進するとともに、廃棄物を含めて環境負荷の削減を図っています。

化学物質のサプライチェーン連絡および海外の法令対応がますます重要になってきたことから、2009年度に内容を全面刷新しました。



グリーン調達ガイドライン

ニッパツグループ・パートナーズミーティング

当社は、毎年1回、グループ会社のサプライヤーを含めた取引先の代表を招き「ニッパツグループ・パートナーズミーティング」を開催しています。当社から、年度方針および取り組むべき課題などを説明し、サプライヤー各社に一層のパートナーシップ強化への理解と協力を求めています。

また、購買本部より、当社を取り巻く経営環境と購買方針の基本的な考え方について説明するとともに、技術本部より、品質方針と目標および各生産本部・事業本部・事業部の品質への取り組みについて説明し、さらなる品質向上への協力を呼び掛けています。



サプライヤー各社との関係強化に向けて開催するニッパツグループ・パートナーズミーティング

VOICE

高い技術と品質をともに目指していきたい



愛知製鋼株式会社
東京支店 支店長
佐藤 公彦 さん

当社は、ニッパツの自動車懸架用の板ばねの素材である、「ばね平鋼」という特殊鋼材を国内・海外に供給しています。東京支店では、ニッパツの営業窓口として、開発鋼などの提案、日常のデリバリー業務などの対応を行っています。

ばね技術をコアに、グローバルに事業を展開しているニッパツの、常にオープンで公正な姿勢に対して、当社もサプライヤーとしての役割を果たしてきた中で相互の信頼関係が生まれ、50年を超える継続的な取引につながっています。

素材メーカーである当社製品をお使いいただくお客様は、当社にとってなくてはならない存在です。当社製品を採用しているニッパツとは、「made by ニッパツ」のばね製品で、世界で「ダントツ」の高い技術と品質をともに目指していきたいと考えます。

当社は、2014年度ニッパツグループ・パートナーズミーティングで「ベスト・パートナー賞」を受賞しました。その荣誉に恥じぬよう、今後ともニッパツのばね製品の競争力強化に貢献をしていきます。